

ウエーブレット

第62号

令和7年・秋
(2025年)

姫路への愛を未来へとつなぐ
姫路お城のアンバサダー…2・3

社会を変える
ジェンダート・イノベーションとは
……4・5

男女共同参画週間 小島慶子さん講演会リポート
これからの生き方・働き方……6

男女共同参画社会の実現を目指して
男女共同参画社会への新たな動き
……7・8



PROFILE

ふじわら ゆうたろう
藤原 祐太郎

職業 会社員
趣味 陸上競技
特技 元気のよい
ラジオ体操

PROFILE

いなづみ しおん
稲積 詩音

職業 塾講師
趣味 音楽、ものづくり
特技 歌

姫路への愛を未来へとつなぐ

姫路お城のアンバサダー

2023年に「姫路お城の女王」から性別不問の新制度に変更した「姫路お城のアンバサダー」。2025年5月に、2026年の姫路お城まつりまで活動する新たな姫路お城のアンバサダーが決定し、初めて男性のアンバサダーが誕生しました。現在、4名の個性あふれるアンバサダーが精力的に活動中です。今回、アンバサダーの藤原さん、稲積さんと、姫路お城のアンバサダーの審査、決定を行う「姫路お城まつり奉賛会事務局」にお話をお聞きました。

INTERVIEW

1 藤原さんは男性で初めて「姫路お城のアンバサダー」に選ばれました。就任後の反響はいかがですか？

藤原さん お城のアンバサダーに名称が変わったことで、知名度が下がるのではないかと心配でしたが、“男性初”のアンバサダー誕生と記者発表があったことで、興味を持ってくださる方が増えた実感しています。個人的には、仕事でお客様に姫路について紹介したときに「どうしてそんなに詳しいのですか？」と驚かれ、アンバサダーの話で盛り上がることもありました。私の話を聞いて「姫路城に登って来ました！」と報告してくださる方も多いです。男性初の私がPRすること、もっと姫路について知ってもらえるのではないかと考えています。

男性初と言われると責任重大でプレッシャーがありますが、私は基盤作りに尽力したいです。まずは、性別を問わずにできるということを周知したいです。姫路や姫路城が好きな方は多いですから、その“好き”をちょっとした“挑戦”にして、気軽にアンバサダーへ応募できるような土台づくりをしていきたいと思っています。



2 女性の稲積さんの視点で、男女両方のアンバサダーがいることで、どんな相乗効果があると思いますか？

稲積さん まず、男性初のアンバサダーが就任したことによる注目度の高さは私も感じています。私がお城のアンバサダーであることをお話しすると「今年から男性が入りましたよね」と言ってくださる方が多く、藤原さんの存在によって「男性がいる」お城のアンバサダーとして覚えていただいている印象があります。

また、男性も女性もいることで、より幅広い層に親近感を持っていただけていると思います。女性ばかりだと男性側から話をするのに遠慮があるように感じますが、男性がいることで声をかけやすいというのは大きな効果だと思います。もちろん藤原さんの親しみやすい雰囲気もあるからですが、男性の加入によって、より多くの方がアンバサダーを身近に感じてくださっているように思います。イベントなどで男性から「私も応募したいのかな？」と聞かれることもありますし、自分ごととしてとらえられる方も増えているのではないかと思います。





3 アンバサダーとして活動する上で、ご自身の強みは何だとお考えですか？

藤原さん 好奇心と行動力の高さ、そして真面目であることです。自身で決めたことは最後まで責任を持って活動したいと思っています。

また、男性初のアンバサダーという点では一人かも知れませんが、一緒に活動しているのはそれぞれ個性のある4人のメンバーです。3人の女性陣が受け入れてくれることで、私も楽しく前向きに活動することができていると思います。私たちの「楽しそう」な感じからアンバサダーに興味を持っていただけたらと思っています。

稲積さん 音楽が私の強みだと思います。大学で専攻し、歌を歌い舞台上に立った経験が、人前に立つアンバサダーと共通しています。現在は母とユニットを組んだり、大学の友人と歌ったりしています。地元のイベントや公民館、高齢者福祉施設で歌や演奏を披露することもあります。歌で培った“伝える力”で、姫路や姫路城の魅力をいろいろな人に伝えて貢献したいと思っています。

4 アンバサダーとして活動をする前後で変わったこと、新たに気づいたことはありますか？

稲積さん 前任の方は特にSNSに力を入れている印象がありました。私も就任してからインスタグラムでイベントの告知や姫路の観光情報を発信していますが、より多くの方により分かりやすい形で伝えるというのがなかなか難しく苦戦することが多いです。それでも、今はSNSをきっかけに「姫路のここに行きたい」と実際に来訪される方が増えていますので、SNSを最大限に活用して、アンバサダーや姫路の周知につなげていきたいと思っています。

藤原さん 私は市川町出身ですが、元々姫路が好きで、休日には家族と一緒に姫路でよく遊んでいました。アンバサダーの研修を受け、漠然とした「好き」が、姫路の「ここが好き」と明確になりました。例えば、建造物が建てられた意図や背景を知ることにより、好奇心からもっと知りたいと思い、歴史に焦点を当てて学ぶうちに「ここが好き」から「もっと大好き」になって、「他の人にもっと知ってもらいたい」という気持ちがより深まりました。

5 最後に、ご自身ならではの「姫路のええところ（良いところ）」を教えてください。

稲積さん 姫路には都会と郊外のそれぞれの魅力が詰まっているところです。姫路駅周辺は姫路城をはじめ観光スポットが多く、また買い物を楽しめる場所もたくさんあります。反対に駅をちょっと離れると豊かな自然が広がっています。姫路はバランスの取れた本当に過ごしやすいまちだと思います。

藤原さん 私はやはり姫路城です。特に自分でも何度も出場した姫路城マラソンの最後に見る姫路城が素晴らしい。城下町をスタートして夢前町、塩田温泉で折り返し、最後に大手門をくぐって出迎えてくれる姿は、完走したという達成感と相まって本当に感動的です。

姫路市立水族館もおすすめです。私が小学校の頃に田んぼで捕まえたような生き物も見ることができます。今の子どもたちに「こんな生き物がいるんだよ」と教え、大人も幼少の頃に戻ることができる、家族で楽しめる水族館だと思います。

姫路お城のアンバサダーの
インスタグラム
最新のイベント情報や
姫路の情報はここから



姫路お城まつり奉賛会事務局よりメッセージ

末永く愛される「姫路お城のアンバサダー」へ

近年の男女共同参画の流れを受け、性別を問わず、姫路市や姫路城の魅力を発信できる人材を発掘する目的で、「姫路お城の女王」は「姫路お城のアンバサダー」へと名称が変更されました。約半世紀、54代続いた伝統あるお城の女王の変更には惜しむ声もありましたが、時代に即した柔軟な対応として歓迎する声も届いています。

今回は18歳から70歳まで幅広い層からの応募がありました。審査基準としては、姫路市および姫路城への想いや自身の

強みを活かしたPR力を重視しており、性別や年齢による差が生まれにくい体制が整えられています。

奉賛会としては、親しみやすく身近に感じられるアンバサダーが、姫路に対する想いや愛を発信することで、従来の伝統を継承しつつ、新しい魅力を発信できると考えています。姫路市のブランドメッセージ「住むほどに“好き”が深まる“姫”のまち」にふさわしく、アンバサダーがたくさんの方から長く愛される存在となる未来を期待しています。

姫路お城まつり奉賛会事務局
堀田 武 主事

松本市から姫路市に出向中。
観光コンベンション室で
姫路お城まつりなどを担当。



見過ごされてきた“性差”に着目

社会を
変える

ジェンダード・イノベーションとは？



石井クンツ昌子さん

お茶の水女子大学理事・副学長
ジェンダード・イノベーション研究所長

カリフォルニア大学リバーサイド校社会学部で20年間教鞭を執り、2006年にお茶の水女子大学に着任。2021年から現職。専門は家族社会学とジェンダー研究。理事・副学長として、国際交流・ダイバーシティ推進の分野を担当。

01 生命にかかわる
医学・医療分野での性差の見過ごし

日本ではジェンダーという言葉はある程度浸透してきていて、それなりの理解をされていると思います。ジェンダー平等といった考え方も非常に重要ですが、「ジェンダード」はそれとは別に、性差の視点をもっていろいろな現象を見てみましょうという意味なんです。なぜその視点が重要かというと、これまで世界中のいろいろな研究において性差が見過ごされてきたことがあります。

特に医学や薬学といった学問分野では、被験者は男性であることが多く、動物実験でもオスのマウスが頻繁に使われていました。そういう研究結果から作られてきた薬品、医学療法などは男性にとってはフィットしていても、女性にとっては非常に危険性を孕んでいるケースがあります。

一方で乳がんや骨粗しょう症などは女性の病気と考えられてきました。そのため男性の乳がんは見過ごされることも多く、生存率が非常に低い。また骨粗しょう症は女性の方が男性より若い年齢で発症する傾向にあります。骨折による死亡率は男性の方が高いのです。つまり性差に着目することは、男女両方にとって必要だと思っています。

02 毎日の生活の中にある
ジェンダード・イノベーションの種

ただ、学術的であればいいというわけではなく、ジェンダード・イノベーションの種は毎日の生活の中に転がっているんじゃないかとも思っています。なぜこういうことで男性と女性が違うのか、その理由を探したりするのは結構面白い。

例えば、女性の方が圧倒的にハンドバッグを使う確率が高いですが、これは女性の服が男性の服に比べてポケットが少なく、サイズも小さいことが理由の一つです。

それからベビーグッズ系。私は社会学が専門で、家族社会学、特に父親の育児参加や家事参加について研究していますが、日本の

育児グッズはお母さん向けが多いんですね。マザーズバッグはピンク色や花柄が多かったりするので、男性が持つにはちょっと躊躇してしまうというデータもあります。またベビーカーも持ち手の高さが低いものが多く、身長が高い人にとっては非常に使いにくくなっています。だから女性だけではなく、男性も不便を感じているケースが多々あるということですね。

そんな中で、私たちの研究所の先生が今実験しているのは、男性も女性も快適に使えるキッチン。上下に高さを変えられるキッチンシンクを作りたいと、工学系のエンジニアリングの先生と一緒に取り組んでいます。

こうした研究結果をもっと現実の社会に実装し、ウェルビーイング※を高めていくことで貢献できれば、注目も高まって多くの人の気づきにつながるはずです。

※身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること。幸福。

03 教育を通じ若い世代の
ジェンダード・イノベーションへの認識を育む

将来的には、研究をして「はい、こんなものができました、買ってください」というだけではなく、やはり小中高生への教育を行っていく必要があると考えています。そういう意味で、家庭科教育には個人的に期待しています。家庭科教育は、ジェンダーについて学ぶとか、伝統的な役割分担についての問題点を探るとか、そういう可能性を秘めている科目なので、そこにジェンダード・イノベーションに関連する教育もぜひ含めたいいただきたいというのが一つあります。

もう一つは、ジェンダーというのはあくまでも一つの要因であって、他にも見てほしい点がたくさんあるということ。例えば年代・年齢の差、住んでいるところの差、教育の差、国の差など、本当にさまざまな変数が転がっているわけです。ジェンダーだけではなく、いろいろな要素が混ざり合って我々の生活に影響を与えているので、ジェンダーを切り口としつつ、他の差もあるということは常に意識していく。これは今も将来にも重要だと思っています。

ジェンダード・イノベーション事例集

妊活・育児分野

インタビューの中で石井クンツ所長がたくさんの事例を挙げてくださいました。それを中心に、他の事例も加えながら見てみましょう。下記の3つの到達度に分けて分野別に紹介します。

◎ すでに成果が出ているもの

○ 進行中のもの

△ 課題が指摘されているもの

◎ 妊 活

妊活支援ツールとして、妊活=女性というイメージを払拭する製品が開発されている。女性用は排卵日予測や妊娠検査薬、男性用は精子の運動濃度をスマホで測定できるテストキットのセットなど、ふたりでの妊活がコンセプト。
また、男性の妊活をサポートするサプリメントなども開発されている。

◎ 育 児

「マザーズバッグ」を見直し、男女両方の意見を取り入れた「ファミリーバッグ」をコンセプトとする商品が開発されている。



医学・医療分野

◎ 睡眠導入剤

睡眠導入剤のゾルピデムは、服用後の睡眠運転の経験がある人が、男性は約5%、女性は約15%と女性が3倍近くになった。その結果を受け、今では女性用は男性の3分の1の量で処方されている。



◎ 腸内細菌検査キット

生物学的性差を踏まえた腸内細菌の検査・疾病リスク分析ができる検査キットが開発されている。腸内フローラの性差に着目し、男女それぞれの疾患リスクを分析してレポートを作成するサービスで、個人向け・医療機関向けに展開。



◎ 車いす

多くの標準型車いすは男性の体格を基準に設計されてきたため、小柄な女性や高齢者が使うと「座幅が広すぎる」「姿勢が安定しない」「褥瘡リスクにもつながる」といった問題があった。北海道大学などの研究により、小柄な高齢女性に合わせた「アクティブ・バランス・シーティング (ABS) 仕様車いす」を導入したところ、姿勢の安定、呼吸や嚥下機能の向上、自立度が高まり介助負担が軽減するなどの改善が見られた。

産業分野

◎ 自動車

自動車のシートベルトの実験には、男性の体型の人形が使われていたため、事故に遭った場合女性の方が重症を負う確率が47%高いことや、胎児の死亡率を上昇させることがわかった。開発のプロセスに性差分析を含めることで、さまざまな体型を考慮したシートベルトの設計が進み、安全性の向上につながっている。

○ 靴

靴を履いた時にかかる足の圧力の性差の研究が行われている。歩き方や圧力のかけ方に性差があるならば、女性に優しい靴、男性に優しい靴が開発される可能性がある。例えば、男女の足型の差に着目し、女性向けランニングシューズを開発したところ、フィット感が向上し、パフォーマンスが上がった。



◎ 農業機械

農林水産省の「農業女子プロジェクト」の一環として、女性使いやすい農業機械を開発。例えば、耕うん機では女性の腕の長さを考慮してハンドルレバーを延長。またトラクターでは、長時間の作業でも疲れにくいシートや安全に乗り降りできるグリップ、サンバイザーを標準装備するなどの改良を行った。これにより、男性やシニア世代からも使いやすいようになったとの声が寄せられている。

テクノロジー分野

△ 顔認証

AIによる顔認証は、女性の方が誤認識率が高いと言われている。その原因としては、女性のデータが不足していることが考えられる。また、化粧した顔では顔認証の精度が76%低下するという。



◎ AIアシスタント

AIアシスタントの初期設定は全部女性の声になっていた。これには女性に従順であるという固定観念を助長するという指摘があり、現在では男女の声を選べるものが登場している。



教育分野

◎ 辞 書

2020年11月に改訂された『新明解国語辞典 第八版』では、「アライン」は、第七版の「(女性)目を大きく見せるために、目のまわりをふちどった線」との表記から「女性が」という記載を削除。また「手離れ」は「いちいち母親がついていなくてもいい程度に幼児が育つこと」と説明されていたが、「母親」が「親」に変更されている。

theme これからの生き方・働き方

～ 女らしさ／男らしさよりも、人間らしさを大切にしよう ～



- 毎年6月23日～29日は男女共同参画週間です。
- 男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念について理解を深めることを目的に定められました。男女共同参画社会の実現を目指して、全国各地でさまざまな啓発活動が行われています。

Profile



1972年生まれ。1995年学習院大学法学部政治学科卒業、TBSに入社し、アナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演。1999年第36回ギャラクシー賞ラジオ部門DJパーソナリティー賞受賞。2010年退職後は各種メディア出演のほか、執筆、講演活動を積極的に行っている。2017年から2025年3月まで東京大学大学院情報学環客員研究員、2019年から昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員。

講師

小島慶子さん



@Aya Kawachi

2025年6月14日、エッセイストでメディアパーソナリティの小島慶子さんを講師にお招きし、あいめっせホールにて男女共同参画週間講演会が開催されました。講演会では、誰もが自分の生きたい人生を生きられる社会にするために私たちができることを、自身の体験も交えながらお話いただきました。

「性別の役割」ではなく「人としての活躍」を

戦後の日本の経済成長を支えたのは、馬車馬のように働く稼ぎ手の男の人と、身を粉にして家のことをする女の人という組み合わせの家族でした。それが豊かな社会の基盤とされ、個人の自由を後回しにするのが当たり前とされました。働き方や家族に対する考えが変化した現在も、いまだに「男はこうあるべき」「女はこうでなくちゃ」と、男らしさ／女らしさを求める習慣が残っています。

例えば女性を「職場の花」扱いするのは、もうやめましょう。一見女性の活躍のように見えますが、若い女性を捧げ物のようにもてはやし、すぐに次の若い「花」に取り替えるのは、女性の活躍どころか、若さや立場の弱さに潰れ込んだ搾取です。年齢や性別に関わらず、真真正正に評価され、何歳になっても何度でもチャンスもらえるようにすること。それが本当の女性活躍です。年齢や見た目、性別で判断されることなく、どんな人も安心して働き続けられる世の中になって欲しいです。



世の中に変化を起こす3つの「ど」

ジェンダー平等の実現には、法整備や働き方などの制度を整えることはもちろん大切です。でも小さな「態度」の変化が「風土」を変えます。「風土」が変わると作った「制度」に血が通い、世の中が変わります。この繰り返しでちょっとずつ世の中は良くなってきました。私は、誰にでも変化を起こす力はあると思っています。例えば「誰かの容姿を笑いものにしていない場面、笑わない」ことで自分の意思を示すことだってできます。このようなほんのちょっとした「態度」を変えることから、人々の価値観や習慣が変わり、世の中の変化が起きるのです。

誰もが人間らしく生きられる社会へ

誰にも等しい人間らしさとは、性別も体も何一つ選べなかった、ということです。どんな自分で生まれてくるかを選ばずに生まれ、いつかは必ず死んでしまう存在である私たちは、等しく人として大切にされるべき存在。人権とはその大原則です。身体も人生も心も、まったく同じ人は一人としていません。「男だから女だからこう」という思い込みを外しましょう。生き方も一つではありません。自分とは違う選択をする人も、自身の選択も、どちらも尊重され、平和に共生することができる世の中をどうしたら作れるでしょうか。力のある人の考えを一方的に押し付けられ、自分を押し殺して生きなくてはならないのは辛いですね。ぜひ、あなたと違う選択をする人、違う生き方を望む人に「なぜそう思うの」と聞いてみてください。知ることが第一歩です。外見のらしさからはわからない、いろんな幸せを望む人がこんなに近くにいたんだということを見発すると、今までとは風景が少し違って見えるかもしれません。

参加者
アンケートより

- 性別などの固定観念にとらわれず、自分の気持ちに正直に生きればよいと気づかされました。
- 3つの「ど」の話、自分も態度で表してみようと思いました。
- 「人間らしさ」は人それぞれ違っていいと思います。それを認め合える世の中にしたいです。



男女共同参画社会への新たな動き



男女共同参画社会の実現を目指して、国際機関や国・地方公共団体などの公的機関、市民活動団体、企業、学校などがさまざまな活動を行っています。

なかでも、男女共同参画推進の拠点である男女共同参画センターについては、令和7年6月20日に「独立行政法人男女共同参画機構法」等が成立し、男女共同参画に関する施策を総合的に行うナショナルセンターの機能が強化・拡充されるとともに、地方公共団体の男女共同参画センターの役割も明確になるなど、新たな取り組みが進められています。

ここでは、男女共同参画センターをはじめとする国内外の男女共同参画に関する活動についてご紹介します。

男女共同参画に関する国内外の活動

UN Women(国連女性機関)

2010年に設立されたUN Womenは、世界レベルでのジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けて、以下の活動を行っています。

1. 女性のリーダーシップと参画の拡大
2. 女性の経済的エンパワーメント及び機会の増進
3. 女性に対する暴力の撤廃
4. 平和安全保障のあらゆる局面での女性の関与
5. ユースとジェンダーの平等
6. 国家の開発計画と予算へのジェンダー平等の反映



男女共同参画会議

国の男女共同参画会議では、男女共同参画に関する基本的な方針や政策、重要事項の調査・審議が行われています。

有識者議員からの最近の主な意見

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 女性に対する暴力被害者への支援
DV防止法等の改正、被害の実態の把握、支援の質と量の改善2. 働き方改革の推進
産育休の充実、育休取得者等の周囲の労働者への手当、キャリアアップにつながる労働移動の円滑化、税・社会保障制度改革3. デジタル化社会の実現
理系分野への女子進学促進、デジタル人材育成、DXによる生産性向上 | <ol style="list-style-type: none">4. 女性のニーズ把握
地域の課題の分析、女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり、産業・職場の確保、起業への支援、夫婦別姓に関する議論の活発化5. 男女共同参画センターの機能強化
男女共同参画センターの法令上の位置付けの明確化、機能強化の推進、専門性の高い人材の確保 |
|---|---|

女性版骨太の方針

女性活躍・男女共同参画の取組を加速するために、毎年6月頃に政府決定され、各府省の予算の要求に反映されます。

第5次男女共同参画基本計画の成果目標の達成や施策の実施に向けた取組を更に具体化する事項及び新たに取り組む事項として、以下の項目があげられました。

1. 女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり
2. 全ての人が希望に応じて働くことができる環境づくり
3. あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大
4. 個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保される社会の実現
5. 女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化

市民活動

1. 各地域において市民団体が啓発活動などの「草の根活動」を広め、課題や提言を国まで届けています。
2. 市民活動においても女性の参画率の伸びが期待されています。



男女共同参画の拠点「男女共同参画センター」

国の機関

男女共同参画基本計画に定める施策全般に携わる「ナショナルセンター」が必要と考えられています。現在は、独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)が、先行してその役割を担っています。

なお、独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、もって男女共同参画社会の形成の促進に資することを目的に設置されています。

地方公共団体

全国で約350カ所の男女共同参画センターが設置されています。男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目的に、各地域で啓発などさまざまな活動が行われています。



姫路市男女共同参画推進センター「あいめっせ」

姫路市では、男女共同参画プランを推進するため、男女共同参画推進センター「あいめっせ」を設置しています。

「あいめっせ」では、男女共同参画の推進や評価、啓発活動、情報収集・提供、市民交流支援、相談、調査・研究、ならびに施設の提供を行っています(詳しくは、ウエーブレット第61号で紹介しています)。



「ウエーブレット第61号」
(令和7年3月発行)



「みんなの男女共同参画」
(令和6年3月発行)



センターの機能強化に向けて

男女共同参画センターを取り巻く課題

1. 継続的な人材育成や、専門性の高い人材の確保
2. センター相互や、企業・教育機関等との連携強化、ネットワーク構築
3. 地域社会における事業ニーズの把握とノウハウの習得
4. 利用者層の拡大(若年層等幅広い層の利用)
5. 調査研究等の充実・強化
6. センターの法的な位置付け、運営方法

などが課題としてあげられています。

「ナショナルセンター」の設立へ

令和8年4月1日より、「独立行政法人国立女性教育会館」は「独立行政法人男女共同参画機構」に改組され、男女共同参画基本計画に定める施策全般に携わる「ナショナルセンター」として位置付けられます。

今後は、同機構が、各地の男女共同参画センターや地方公共団体の関係各部署、学校、企業、団体等と連携するとともに、全国の男女共同参画センターをバックアップする「センターオブセンターズ」としての役割を果たし、全国の男女共同参画センターの活性化につながる事が期待されています。

編集後記

いとメンバー同士の絆、心の持ち方、だからこそ現れる内面の美しさを感じました。性別も年齢も越えての愛や熱意が「姫路お城のアンバサダー」「あいめっせ」そして本誌から伝わり、より男女共同参画が広まる一端であるようにと思います。(東)

講演会レポートを担当しました。本講演会から、とても大切な共生社会について再確認しました。平和に共生できる社会の実現に向けて、私も努力し世界に発信していけたらと思います。(畠口)

ジェンダー・イノベーションの取材で、石井所長の「種は毎日の生活の中に転がっている」との言葉にハッとしました。そういう視点を持って毎日を過ごすのも楽しそう。「背が高い冷蔵庫の最上段は使いにくいよ」「何が入っているかわからなくなりますよね」と、こんな種に共感する一幕も。(本上)

今回は「男女共同参画社会の実現を目指して」というテーマになりました。短い期間でしたが、本気度もアップして、職員の方とはいい役割分担だったと思います。引用資料のなかで、国連女性機関が高い格調で宣言している6つのフレーズには、誰も看過できない真実が込められていると思います。次は、本当の意味での男女の役割分担を掘り下げてみたいと思います。(松井)

ウエーブレット編集委員

聞かせてください

あなたの声!

第62号、ご覧になっていかがでしたか?
ご意見・ご感想などあなたからの
発信をお待ちしています。



ご意見・ご感想は
こちらから

ウエーブレットはここにあります

あいめっせ、市政情報センター、各地域事務所、各支所・出張所・サービスセンター、駅前市役所、市民会館、各市民センター、各公民館、城内図書館、姫路文学館、生涯学習大学校、好古学園大学校、キャスバホール、各総合センター、すこやかセンター、アクリエひめじ、市民活動・ボランティアサポートセンター、青少年センター など



住むほどに
好きが深まる
姫のまち

■編集／姫路市 市民局 市民参画部 男女共同参画推進センター「あいめっせ」

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階 Tel 079-287-0803 Fax 079-287-0805
電子メール i-messae@city.himeji.lg.jp

あいめっせ

